



## 2024年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年4月2日

上場会社名 株式会社 あみやき亭  
コード番号 2753 URL <http://www.amiyakitei.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 佐藤 啓介

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長 (氏名) 松井 貴志

TEL 0568-32-8800

定時株主総会開催予定日 2024年6月18日

配当支払開始予定日

2024年6月19日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	33,267	16.6	2,221	426.4	2,311	229.7	1,307	889.9
2023年3月期	28,538	32.3	422		701	47.2	132	79.0

(注) 包括利益 2024年3月期 1,307百万円 (889.9%) 2023年3月期 132百万円 (79.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	190.91		6.4	8.9	6.7
2023年3月期	19.29		0.7	2.8	1.5

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	27,236	20,894	76.7	3,051.10
2023年3月期	24,865	20,066	80.7	2,930.19

(参考) 自己資本 2024年3月期 20,894百万円 2023年3月期 20,066百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	3,531	1,619	679	5,677
2023年3月期	2,031	1,105	311	4,445

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期		10.00		30.00	40.00	273	207.4	1.4
2024年3月期		40.00		50.00	90.00	616	47.1	3.0
2025年3月期(予想)		50.00		50.00	100.00			

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,200	13.8	1,252	32.3	1,278	30.9	744	38.8	108.64
通期	37,400	12.4	2,720	22.4	2,800	21.1	1,650	26.2	240.94

## 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期	6,848,800 株	2023年3月期	6,848,800 株
2024年3月期	481 株	2023年3月期	481 株
2024年3月期	6,848,319 株	2023年3月期	6,848,351 株

期末自己株式数

期中平均株式数

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行し、個人消費やインバウンド需要もあり、回復基調にあります。

外食産業におきましては、需要回復の兆しがみられるものの、円安やウクライナ情勢の長期化を起因とした原材料価格の高止まりと、それに伴う物価上昇による消費者マインドの変化等、依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、「事業ポートフォリオ」の最適化を見据えた不採算店舗の業態変更や店舗撤退による収益力改善の取り組み、並びにコロナ禍において新しい業態の「感動の肉と米」の開発を行うなど構造改革を実施したことにより、当第4四半期以降の成果に確かな手応えを感じております。

また、競合他社との差別化を図るため銘柄牛などの商品化やお客様にご満足いただける付加価値商品をはじめとした適正な価格政策を実施したことに加えて、子会社化した株式会社ニュールックの業績が順調に推移いたしました。

なお、当社グループは調達、加工、販売の各部門において、「お客様に喜んでいただき、選んでいただける店づくり」を目指し、今後も構造改革の各種施策を成長拡大に向け着実に実行してまいります。

店舗数につきましては、9店舗(焼肉事業3店舗、レストラン事業6店舗)を新規出店し、7店舗(焼肉事業4店舗、レストラン事業1店舗、その他事業2店舗)を撤退し、10店舗(焼肉事業3店舗、レストラン事業7店舗)を業態変更し、6店舗(焼肉事業2店舗、焼鳥事業3店舗、レストラン事業1店舗)をリニューアルオープンしたほか、株式会社ニュールックの新規連結29店舗(焼肉事業14店舗、焼鳥事業11店舗、その他事業4店舗)を加えた結果、当連結会計年度末の店舗数は286店舗となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高33,267百万円(前年同期比16.6%増)、営業利益2,221百万円(前年同期比426.4%増)、経常利益2,311百万円(前年同期比229.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,307百万円(前年同期比889.9%増)となり、売上高は過去最高となりました。

#### <焼肉事業>

焼肉事業の当連結会計年度末の店舗数は、173店舗であります。

内訳は、「あみやき亭」90店舗、「あみやき亭PLUS」6店舗、「どんどん」14店舗、「ほるとん屋」13店舗、「スエヒロ館」22店舗、「かるび家」1店舗、「ブラックホール」4店舗、「ホルモン青木」7店舗、「ホルモンセンター」他15店舗に加え、2023年12月にオープンした銘柄牛をお値打ちにご提供する新業態「百名山」1店舗であります。

以上の結果、焼肉事業の当連結会計年度の売上高は22,446百万円(前年同期比6.4%増)となりました。

#### <焼鳥事業>

焼鳥事業の当連結会計年度末の店舗数は、53店舗であります。

内訳は、「美濃路」39店舗、「みの路」3店舗、「もつしげ」11店舗であります。

以上の結果、焼鳥事業の当連結会計年度の売上高は3,427百万円(前年同期比33.8%増)となりました。

#### <レストラン事業>

レストラン事業の当連結会計年度末の店舗数は、48店舗であります。

内訳は、「感動の肉と米」32店舗、レストラン「スエヒロ館」16店舗であります。

以上の結果、レストラン事業の当連結会計年度の売上高は5,864百万円(前年同期比56.8%増)となりました。

#### <その他の事業>

その他の事業の当連結会計年度末の店舗数は、12店舗であります。

内訳は、精肉小売店「お肉の工場直売市」1店舗、しゃぶしゃぶ店「しゃぶ亭ふふふ」2店舗、居酒屋「楽市」2店舗、寿司業態の「すしまみれ」2店舗、ダイニング1店舗、「とりとん」他4店舗であります。

以上の結果、その他の事業の当連結会計年度の売上高は1,529百万円(前年同期比34.1%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

当連結会計年度末の総資産は、27,236百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金9,677百万円、有形固定資産7,805百万円となっております。

(ロ) 負債

当連結会計年度末の総負債は、6,341百万円となりました。主な内訳は、買掛金1,406百万円、未払金及び未払費用1,459百万円となっております。

(ハ) 純資産

当連結会計年度末の純資産合計は、20,894百万円となりました。主な内訳は、利益剰余金15,996百万円となっております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、5,677百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3,531百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が2,020百万円となったこと等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,619百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が1,234百万円あったこと等を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、679百万円となりました、これは主に、配当金の支払額が479百万円あったこと等を反映したものであります。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、消費者マインドは回復傾向にあること及び賃金上昇の動きに期待する一方、引き続き地政学的リスクに伴う物価上昇、原材料高騰や人手不足の深刻化など、不透明な状況が続くものと想定しております。

このような環境の下、当社グループは「事業ポートフォリオ」の最適化は一部を除き完了しており、これに伴う果実の摘み取りと引き続き収益拡大を目指した店舗構造改革を着実に実行してまいります。

なお、次期の新規出店につきましては「感動の肉と米」を中心に20店舗を計画しております。

以上に基づき、次期の業績につきましては、売上高37,400百万円(前期比12.4%増)、営業利益2,720百万円(前期比22.4%増)、経常利益2,800百万円(前期比21.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,650百万円(前期比26.2%増)を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、現状は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R S (国際財務報告基準) の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、検討を進めていく方針であります。現時点においては未定であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,784	9,677
預け金	161	300
売掛金	—	12
商品及び製品	83	98
原材料及び貯蔵品	1,892	1,402
未収入金	887	975
その他	249	273
流動資産合計	13,058	12,740
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,589	4,030
構築物（純額）	229	232
機械及び装置（純額）	251	290
車両運搬具（純額）	10	7
工具、器具及び備品（純額）	352	319
土地	2,709	2,882
建設仮勘定	15	42
有形固定資産合計	7,159	7,805
無形固定資産		
ソフトウェア	8	13
のれん	643	2,309
その他	12	10
無形固定資産合計	663	2,332
投資その他の資産		
長期貸付金	249	493
繰延税金資産	1,312	1,356
差入保証金	1,436	1,521
投資不動産	296	293
その他	689	692
投資その他の資産合計	3,984	4,357
固定資産合計	11,807	14,496
資産合計	24,865	27,236

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,348	1,406
短期借入金	300	300
1年内償還予定の社債	—	45
1年内返済予定の長期借入金	28	125
未払金及び未払費用	1,221	1,459
未払法人税等	97	715
契約負債	73	111
賞与引当金	139	135
株主優待引当金	5	9
その他	814	803
流動負債合計	4,030	5,110
固定負債		
社債	—	30
長期借入金	—	375
リース債務	260	241
退職給付に係る負債	7	8
資産除去債務	443	506
その他	58	69
固定負債合計	768	1,231
負債合計	4,799	6,341
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,426	2,426
利益剰余金	15,168	15,996
自己株式	△1	△1
株主資本合計	20,066	20,894
純資産合計	20,066	20,894
負債純資産合計	24,865	27,236

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	28,538	33,267
売上原価	11,025	12,888
売上総利益	17,513	20,379
販売費及び一般管理費	17,091	18,157
営業利益	422	2,221
営業外収益		
受取利息	2	3
受取賃貸料	36	35
助成金収入	211	—
協賛金収入	3	17
その他	29	41
営業外収益合計	283	98
営業外費用		
支払利息	0	3
匿名組合投資損失	1	2
不動産賃貸費用	2	2
営業外費用合計	4	8
経常利益	701	2,311
特別利益		
固定資産売却益	4	19
受取保険金	1	0
特別利益合計	5	19
特別損失		
抱合せ株式消滅差損	10	—
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	26	34
減損損失	326	261
貸借契約解約損	3	8
その他	1	6
特別損失合計	369	310
税金等調整前当期純利益	336	2,020
法人税、住民税及び事業税	143	699
法人税等調整額	61	13
法人税等合計	204	712
当期純利益	132	1,307
親会社株主に帰属する当期純利益	132	1,307

## (連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	132	1,307
包括利益	132	1,307
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	132	1,307

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) (単位:百万円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	2,473	2,426	15,241	△1	20,140	20,140
当期変動額						
剰余金の配当			△205		△205	△205
親会社株主に帰属する当期純利益			132		132	132
自己株式の取得				△0	△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						—
当期変動額合計	—	—	△73	△0	△73	△73
当期末残高	2,473	2,426	15,168	△1	20,066	20,066

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) (単位:百万円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	2,473	2,426	15,168	△1	20,066	20,066
当期変動額						
剰余金の配当			△479		△479	△479
親会社株主に帰属する当期純利益			1,307		1,307	1,307
自己株式の取得						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						—
当期変動額合計	—	—	828	—	828	828
当期末残高	2,473	2,426	15,996	△1	20,894	20,894

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	336	2,020
減価償却費	797	821
減損損失	326	261
のれん償却額	78	170
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8	△19
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△0	3
有形固定資産除却損	26	34
受取利息	△2	△3
支払利息	0	3
助成金収入	△211	—
売上債権の増減額 (△は増加)	2	2
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△750	497
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△11	△139
仕入債務の増減額 (△は減少)	252	7
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	70	△80
未払消費税等の増減額 (△は減少)	523	△63
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	4	37
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△22	32
その他	35	0
小計	1,445	3,585
利息の受取額	2	3
利息の支払額	△0	△3
保険金の受取額	13	—
助成金の受取額	1,026	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△456	△53
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,031	3,531
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10,500	△10,500
定期預金の払戻による収入	10,500	11,700
有形固定資産の取得による支出	△1,085	△1,234
有形固定資産の除却による支出	△29	△21
差入保証金の差入による支出	△36	△55
差入保証金の回収による収入	36	26
貸付けによる支出	—	△276
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,267
その他	8	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,105	△1,619
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△67	△136
リース債務の返済による支出	△37	△18
社債の償還による支出	—	△45
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△205	△479
財務活動によるキャッシュ・フロー	△311	△679
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	614	1,232
現金及び現金同等物の期首残高	3,813	4,445
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	17	—
現金及び現金同等物の期末残高	4,445	5,677

(5) 連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(会計方針の変更)  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社のセグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は本社に業態別の包括的な戦略を立案する複数の事業統括を設置し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「焼肉事業」、「焼鳥事業」及び「レストラン事業」の3つを報告セグメントとしております。

「焼肉事業」は焼肉を提供する飲食店を展開しており、主な店舗としては「あみやき亭」「どんどん」「焼肉スエヒロ館」を展開しております。「焼鳥事業」は焼鳥を提供する飲食店を展開しており、主な店舗としては「元祖やきとり家美濃路」「もつしげ」を展開しております。「レストラン事業」はステーキとハンバーグを提供する飲食店を展開しており、主な店舗としては「感動の肉と米」「レストランスエヒロ館」を展開しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸 表計上額
	焼肉	焼鳥	レストラン	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	21,094	2,562	3,741	27,397	1,140	28,538	—	28,538
外部顧客への売上高	21,094	2,562	3,741	27,397	1,140	28,538	—	28,538
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	21,094	2,562	3,741	27,397	1,140	28,538	—	28,538
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	422	48	114	585	△86	499	△77	422
セグメント資産	7,828	301	2,171	10,301	286	10,587	14,278	24,865
その他の項目								
減価償却費	610	42	124	777	20	797	—	797
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	545	7	474	1,027	△4	1,022	50	1,073

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、居酒屋事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△77百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。セグメント資産の調整額14,278百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産等であります。

3. セグメント負債の金額は、当社の最高意思決定機関において定期的に提供・使用しておりません。

4. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額50百万円については本社等の設備投資額であります。

5. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸 表計上額
	焼肉	焼鳥	レストラン	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	22,446	3,427	5,864	31,738	1,529	33,267	—	33,267
外部顧客への売上高	22,446	3,427	5,864	31,738	1,529	33,267	—	33,267
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	22,446	3,427	5,864	31,738	1,529	33,267	—	33,267
セグメント利益	1,689	290	340	2,319	70	2,390	△168	2,221
セグメント資産	7,576	405	2,634	10,616	258	10,875	16,361	27,236
その他の項目								
減価償却費	572	48	180	800	18	818	—	818
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	643	51	577	1,272	12	1,285	41	1,326

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、居酒屋事業等を含んでおり  
ます。
2. セグメント利益の調整額△168百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。セグメ  
ント資産の調整額16,361百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産等であります。
3. セグメント負債の金額は、当社の最高意思決定機関において定期的に提供・使用しておりません。
4. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額41百万円については本社等の設備投資額であります。
5. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	2,930.19円	3,051.10円
1株当たり当期純利益金額	19.29円	190.91円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	132	1,307
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 金額(百万円)	132	1,307
期中平均株式数(千株)	6,848	6,848

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。